
『孤高』の存在となった『モノ』

ASURA

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

『孤高』の存在となった『モノ』

【Nコード】

N6480I

【作者名】

ASURA

【あらすじ】

『絆』を大切にし、優しい心を持った蒼き流星…

しかし、そんな彼は『大切な人』の放った一言で壊れてしまった…

(前書き)

暗い上にバッドエンド、更にシチュエーションが分からない物です
(汗)

こんなんが初投稿の小説でごめんなさい！

こんな駄文でも見てくださる優しいお方！感謝感激です！

ねえ、何で…？

『私はアナタの敵になったの』

どうしてなの？

『もう私に関わらないで』

……………。

彼女の言葉を聞けば聞く程、僕の意識は遠退き、涙だけが溢れる。

…信じてたのに

『ナラ、モウきずなナンテステテシマエ』

…君は誰？…いや、もうそんなこともどうでもいいや…

『ソウ、ワレノコトハイイ。オマエガきずなヲステタトキ、アラタナチカラガテニハイリ、アラタナセカイガミエテクルンダ…サア、ドウスル…？』

もう絆なんて信じない。

裏切られて傷付く位なら…自分から捨ててしまえばいいんだ…

…僕は僕だけを信じる

…どこかで笑う声が聞こえた様な気がした…

…モウ、ナニモキコエナイ…

「…スバルくん…?」

私から見たスバル君は姿形がブライに似た姿に変わり、色も黒く染まった。

瞳から光は消えうせ、そこにあるのは闇だけ。

優しく、強くて。

こんな私のことを大事だと言って守ってくれた流星。何よりも絆を大切にしていた彼はもう、存在しない。

居るのは全てを拒絶し、絆を捨てて孤高の存在となった『モノ』だけ…

…私の声はもう、届かない…

(後書き)

後書き

全国のスバルくん&mp・ミニソラちゃんのファンの皆様、すいませんでした(土下座)

いやー…流星2の出来事を思い出して衝動的に書いてしまったもの!

ってかどんなシチュなんだろう、コレ…

とにかくすいませんでしたああああ!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6480i/>

『孤高』の存在となった『モノ』

2010年10月12日03時34分発行